

さがみおおの らいぶらりーにゅーす

109

相模大野図書館報 2026年2月27日発行

特集 冬の怪談



CONTENTS

P 2 - P 3

【特集 冬の怪談】

P 4 【ブックらいと】

P 5 【どんな？こんな！R資料】

P 6 【こどものほんのフロアからこんにちは！】

P 7 【AVコーナー】

P 8 【巻末】相模大野図書館ニュース



冬の

かいだん・怪談・KAIDAN

怪談とは？

広辞苑では「ばけものに関する話」。妖怪、幽霊、鬼、狐、狸といった存在が登場する、迷信的な口碑（こうひ）や伝説を指すと定義されています。つまり、創作されたものが根本です。

平安時代の「今昔物語集」、室町時代の「百鬼夜行絵巻」からも、当時の人々が、妖怪という創作を愉（たの）しんでいた様子が想像されます。江戸時代には日本三大怪談といわれている「四谷怪談」「番町皿屋敷」「牡丹燈籠」が登場しました。歌舞伎や浄瑠璃、読物の「雨月物語」といった恐怖やスリルなどの刺激を味わえる怪談が、娯楽として需要が高まっていったようです。夏の暑さを忘れるためや、「先祖の霊が里帰りしてくる」お盆と重なることで、日本では夏の風物詩として怪談が語られています。

そして、英国では怪談は冬の風物詩です。英国は冬が長く、日の暮れも早いので、長い夜、家族や友人達と暖かい暖炉を囲みながら、怪談話に興じることが冬の楽しみなのでしょう。また、19世紀に文豪ディケンズにより3人の幽霊が登場する「クリスマス・キャロル」が出版されてから、冬に幽霊話を楽しむことが一般的になったという説もあります。

日本で冬が舞台の怪談といえば、雪深い山奥での遭難や極寒の中で起きる心霊現象などを題材にした物語が多いです。岡本綺堂の「妖婆」などもありますが、小泉八雲の「雪女」が一番に浮かびます。英語圏の読者のために英語で創作した「怪談」の中に収録されている一編です。

『江戸の怪談がいかにして歌舞伎と落語の

名作となったか』 櫻庭由紀子／著

笠間書院 2022 388.1



表紙のかわいらしさとは真逆の内容がぎっしりと詰め込まれている本です。日本三大怪談のほか有名な怨霊「累(かさね)」のような怪談の元ネタ

を調べ上げている内容がとても興味深く、娯楽になった演目を鑑賞したくなります。

『怖いこわい京都、教えます』

入江敦彦／著

新潮社 2007 291.62



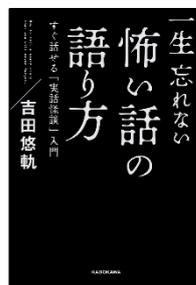
歴史を感じる魅力的な観光地、「京都」の怪しい裏路地に入ったような八十八話のエッセイです。神社仏閣への拝観が怖くもなりますが、一番こわいのは人間。京都の「いけず文化」かもしれません……。

『ふちなしのかがみ』 辻村深月／著
KADOKAWA 2009 **F**



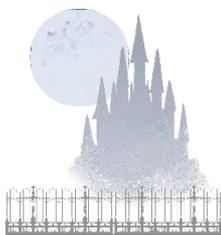
ホラーのようで、ミステリーのようにもある5つの物語が収められた短編集です。一番初めに収録されている物語「踊り場の花子」は学校の怪談でおなじみの「トイレの花子さん」を思い出させてくれます。怖いものが苦手な方にもおすすめです。

『一生忘れない怖い話の語り方』
吉田悠軌／著 KADOKAWA
2021 **147**



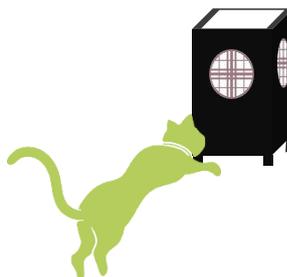
この本では、怖い話の取材方法、編集方法から、しゃべり方まで怖い話を語るうえで必要なことが細かく書かれています。怪談研究者である著者が怪談を披露するときどんな準備をしているのか、裏側を覗きたい方、必見です。

『絶対に出る世界の幽霊屋敷』
ロバート・グレンビル／著
片山美佳子／訳
日経ナショナルジオグラフィック社
2018 **520.87**



世界各国の心霊スポットが掲載された写真集です。怪談の舞台になっていそうな建物の写真の横にはその建物で起きた不思議な現象について書かれています。背すじを凍らせながらお楽しみください。

『小泉八雲の妖怪図鑑』
小泉 凡／監修
三オブックス 2025 **388.1**



怪談作家、小泉八雲はどのような妖怪たちに魅せられ、執筆活動をしたのか。この本では彼の蔵書や直筆原稿からその裏側を探ります。また、当時の“あやかしの世界”も図版を用い紹介しています。

『雪の怪談・冬の怪』 小泉八雲／他著
河出書房新社 2025 **BF**



小泉八雲の「雪女」をはじめ、雪の夜や冬を舞台にした怪談のアンソロジーです。八雲や鏡花などの文豪の作品から山の遭難といった、実話系の話まで、寒くて不思議な話が多数収録されています。暖かくしてからお読みください。

『町田相模原怪談』 神沼三平太／著
竹書房 2025 **B147**



相模原在住の怪談作家が徹底取材のうえ執筆した、町田・相模原が舞台の怪談集です。なじみのある地名に怖さが倍増します。身近にひそむ恐怖、地元の怪談の数々を、作者いわく「エンタメとして楽しんで」とのことです。

きになる本をてらします

ブックらいと



世界に誇る、日本の魅力！

1



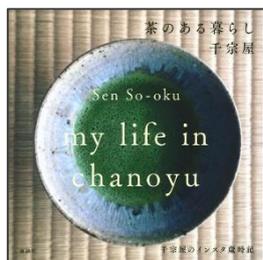
『日本の伝統&絶景 100』
朝日新聞出版／編
朝日新聞出版
2016 361.5

近年、訪日外国人の数は増え、街中で日本観光を楽しむ姿を見かける機会が多いのではないのでしょうか。海外における日本人気の背景には、「クールジャパン」と称される日本文化や四季折々の美しい風景が高い評価を得ていることにあります。私たちの身近にあるあまり、気づいていなかった日本の魅力を今一度味わってみませんか？

『日本の伝統&絶景 100』には外国の方にはもちろん、日本に住む私たちも改めて知る知識が幅広く簡潔にまとめられています。美しい芸術品や風景がオールカラーで紹介され、視覚的にも楽しめます。

さらに日本の魅力について書かれた本を以下に選びましたので、より深く知りたい方は必見です！

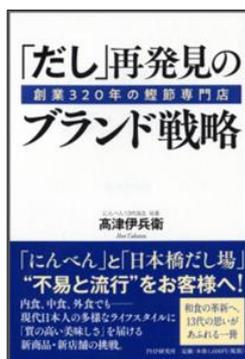
2



『茶のある暮らし』
千宗屋／著
講談社 2018 791

茶の湯の家に生まれた著者の2年間のインスタグラム投稿から厳選した写真が美しい本です。茶道から日本の伝統行事、四季のうつろいが感じられます。

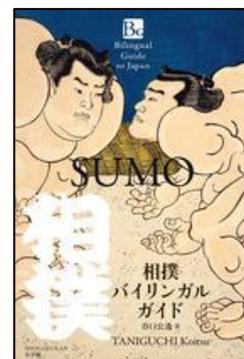
3



『「だし」再発見のブランド戦略』
高津伊兵衛／著
PHP研究所 2020 667.2

だしの香りに心がいやされる…その正体はうまみです。今では“UMAMI”となって世界中で愛される存在に。だしの代表格、かつお節の歴史とこれからは詰まった一冊です

4



『相撲バイリンガルガイド』
谷口公逸／著
小学館 2025 788.1

海外人気が高まっている日本古来のスポーツ「相撲」。本書は、英語と日本語が併記してあるため海外の人に紹介したい時に最適です。基礎知識を得られるほか、見学情報も掲載されています。



相模大野図書館の本は、『日本十進分類法』に従って並んでいます。『日本十進分類法』とは、本を内容別に整理する為の方法です。まず0~9の大まかな区分に分け、その10区分をさらに細かく分けることによって、わかりやすく配置することができます。

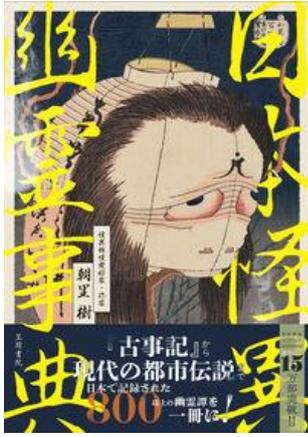
またその中で、参考資料(R)、郷土資料(K)、文庫(BF)や新書(S)、旅行ガイド(T)、児童書(J)などは分類記号の前に別置記号を付し、探しやすくしています。他にも、小説(F)、雑誌(Z)、絵本(E)、洋画DVD(DW)、などの表記もあります。

どんな?
こんな!

レファレンス

R 資料

なかなか手に取りにくい“調べもの”のための
資料＝通称“R(レファレンス)資料”
ここではレファレンスのスペシャリストが
とっておきの資料を皆様にご紹介します



この世の、その後

『日本怪異幽霊事典』

朝里 樹／著 笠間書院

2024 R388.1

「人は死後どうなるのか」それは幽霊や怪異現象などの事例として創作され、記録されてきました。それらを集めたこの事典は伝説、文学、芸能、都市伝説など、出典資料の成立時代ごとに分けられているのが特徴です。事例の代表格「幽霊」、言葉として見える最古の例は天平 19 年 (747)、当時は目に見えない死者をさした言葉が、室町時代、世阿弥の能の中に使われたことにより、目に見える人間の姿をした死者に対する言葉として変化していったそうです。登場する「幽霊」が古代は高級貴族、中世は武将、近世は町人、現代はトイレの花子さんなどへ変化、化け方、呪い方、登場の仕方などの移り変わりがみえるのも時代別ならではの。日本人の死生観の変化も垣間見ることのできる一冊となっています。

自分の住んでいる地域の伝説や民話をご存じでしょうか。

相模原で有名な巨人伝説の「でいらぼっち」は鹿沼や淵野辺の菖蒲沼、南区大沼、南区大野台などの沼地やくぼ地の形成伝承として語り継がれています。

また、鹿沼公園の池は「でいらぼっち伝説伝承地」として市登録史跡となっています。

こちらの本は神奈川県のあるさまざまな地域の民話と伝説がまとめられています。

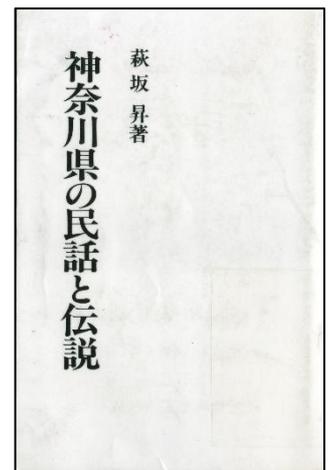
相模原市からは「でいたらぼうとじんだら沼」をはじめ、「相模川のぼんばあ石」、「お銀とこ銀の笛」、「鳥のみじい」、「蛇婿入」などのお話が収録されています。一話一話が短いので読みやすく、切り絵の挿絵が目を引く一冊です。

郷土資料コーナーの分類番号 K1-38 の棚には相模原だけの民話伝説集もあります。ぜひ、ご覧ください。

シリーズ
郷土資料

発見！私たちの郷土

身近な伝説・民話



『神奈川県民話と伝説 上下巻』

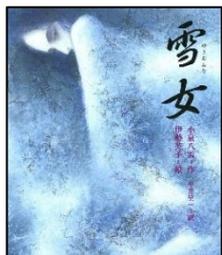
萩坂 昇／著 有峰書店新社

1993 K0-38

こどものほんのフロアから こんにちは!

相模大野図書館は、“一般書（大人向け図書）フロア”と“こどもの本のフロア”に分かれています。
“こどもの本のフロア”ってどんな所？という方もいらっしゃるかもしれません。そこで、こちらのページでは、“こどもの本のフロア”に関する事や児童対象のイベントの紹介・報告をしています。

小泉八雲のこわ～い作品



吹雪の中、二人の木こりは渡し守の小屋に逃げ込んだ。いつしか眠りにつき、ふと目を覚ました若い木こり。見ると、年老いた木こりの上に白装束の美しい女がかみこんで、白い息をふきかけて

いるではないか。

美しくも凍るような冷たさが感じられる絵本です。

『雪女』

小泉八雲／著 伊勢英子／画

平井呈一／訳 偕成社 2000 E/い



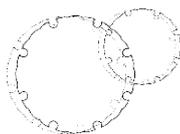
ここでも紹介されている、『雪女』や『耳なし芳一』など、小泉八雲が妻のセツから聞いた、10篇の怪談集です。訳者は、怪談や昔話がより身近になるように、朗読や語りにも向いている作品を選んだそうです。巻末には一話ごとの朗

読時間も載っているので、まず、声に出して読んでみるのもおすすめです。

『怪談 こわくて不思議な10の話』

小泉八雲／作 小宮 由／選・訳

アノニマ・スタジオ 2025 J933



盲目の琵琶法師ホーイチのもとに、琵琶を聞かせてほしいと鎧武者の霊が夜な夜な現れる。次第にやつれていくホーイチを見かねた和尚は、ホーイチの体中にお経を書きますが……。



『ミミナシホーイチ』

小泉八雲／原作 円城 塔／翻案

長田結花／絵 岩崎書店 2025 E/お

仲間の漁師と漁に出た甚助。その夜激しい嵐に襲われ、海に投げ出されます。すると……。

焼津の漁師の実話をもとにした短編「漂流」が原作の紙芝居です。



『あらしのうみのゆうれい』

小泉八雲／原著 諸橋精光／脚本

童心社 1991 C



貴重な「復刻 世界の絵本館 オズボーン・コレクション」あります!

ご覧になりたいときは、児童カウンタースタッフにお声かけください。

「復刻 世界の絵本館 オズボーン・コレクション*」は、主にイギリスの18-19世紀までの古典絵本を中心に、34冊の絵本と1点の附録を、版型・装丁などの形態にいたるまで、完全に再現して復刻させたシリーズです。

安野光雅氏がデザインした外箱に入った、世界初の絵本『世界図絵』や『おとぎの“アリス”』などの貴重な絵本を手にとってじっくりご覧いただけます。

*イギリスの図書館長エドガー・オズボーン氏が収集した児童古書のコレクション。主にイギリスで、1560年から1910年にかけて出版された子ども向けの本からなる約2,000点のコレクションです。

『復刻世界の絵本館オズボーン・コレクション』

ほるぷ出版 1979 GE3/J/カウンター





このコーナーではCD・ビデオ・DVDの視聴覚資料（オーディオヴィジュアル）を中心に紹介していきます。

冬の鑑賞会

冬に聞きたくなる楽曲、冬におすすめのDVDを集めました。暖かいお家で、ゆっくりご鑑賞ください。

『ムーミン谷と

ウィンターワンダーランド』

トーベ・ヤンソン／原作

アミューズソフト 2017 **DA20178**

ムーミンは、友だちのスナフキンと一緒にムーミン谷に訪れる冬を感じに出かけます。そこで「クリスマス」の存在を知ったムーミンは……。ワクワクする冒険と、美しいムーミン谷の雪景色が世界観を一層ひきたててくれます。

『シャイニング』

ワーナー・ブラザーズ 1980 **DW20037**

スタンリー・キューブリック／監督

冬の名作ホラー。豪雪で閉鎖されたいわくつきのホテルで、管理人のジャックは妻と心霊能力を持つ息子ダニエルと過ごしますが、次第に邪悪な意思に飲み込まれていきます。主演のジャック・ニコルソンが見せる狂気に満ちた怪演に心から恐怖を覚える作品です。

『毛糸の指輪』

NHK EP 1977 **DN20139**

向田邦子／原作

結婚 35 年、子どもがいない宇治原と妻のさつきは、娘らしい年の清子と知り合います。悩む清子を慰め、励ますうちに実の娘のように感じていく 2 人。清子も本当の両親のように慕い、自分を偽らない素直な人間に少しずつ成長していきます。冬にぴったりの、心温まる家族愛のお話です。

『ジャズで聴きたいウインター・ソング』

クオア

2020 **CJ20907**

人気のウインターソングがインストゥルメンタルジャズで聴けるオムニバスアルバムです。[Alexandros]の「SNOW SOUND」や、レミオロメンの「粉雪」など、寒い日に心を温めてくれそうな J-POP が収録されています。

『オーロラのささやき』

Finlandia Records

1996 **CC21334**

グリーグやニールセンなど北欧の作曲家の作品を集めたオムニバスアルバム。北欧音楽の多様性をゆったりとした落ち着いた気分で楽しめませ。中でもシベリウス作曲の「^{もみ}樅の木」は、深々とした冬の日一人静かに聴きたい一曲です。

『Seasons colours-秋冬撰曲集-』

松任谷由美／作曲

EMIミュージック・ジャパン

2007 **CN22380**

デビュー35周年特別企画、四季をテーマにセレクトされたアルバムの秋冬編です。「ノーサイド」、「BRIZZARD」など、冬の季節感を感じられる楽曲が選曲されています。せつなく、しっとりとした雰囲気作品です。



もし、DVDやビデオを破損、紛失してしまったら？

図書館にあるDVDとビデオは著作権許諾済みのものを購入しています。市販のものは、図書館での利用ができません。

弁償の場合は、図書館で注文しますのでお借りになった図書館へお申し出ください。

価格については、図書館で利用するための著作権料が含まれており、市販価格よりも高額となっています。

DVDやビデオ等の視聴覚資料は壊れたり傷つきやすいので、お取り扱いにご注意ください。

相模大野図書館ニュース

読書履歴を残すには

このコーナーでは、相模大野図書館のお役立ち情報をお届けします！

以前読んだ本をもう一度読みたい、と思ったことはありませんか？今回は、相模原市の図書館ホームページにあるマイ・ライブラリーで読書履歴を残す方法についてお伝えします。



①ログインすると、上の画像のようなページになります。画像内の丸印、『読書履歴』を押してください。

②『読書履歴』をクリックすると上の画像のようなページになります。

画像内の丸印、『読書履歴を保存する』を押した後、『設定変更』を押してください。



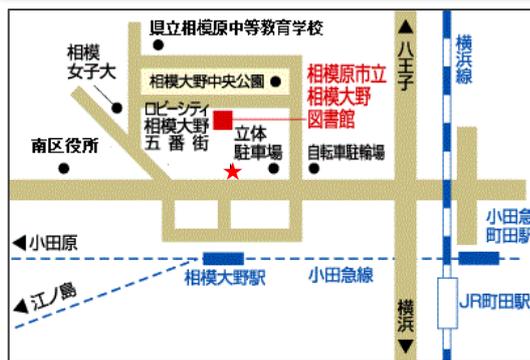
読書履歴が残せるようになりました！



発行 相模原市立相模大野図書館
〒252-0303
相模原市南区相模大野4-4-1
TEL 042-749-2244
<https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp>
開館時間

平日 9:30~20:00 (4階子どもの本のフロアは18:00まで)
土・日・休日 9:30~18:00

←図書館のHP、フェイスブック、XはこちらのQRコードからアクセス！



小田急線相模大野駅北口徒歩8分

MAP

FM HOT 839「図書館へ行こう」放送中!!

図書館職員によるおすすめの本と図書館イベントの紹介

毎月第1週火曜日 11:35頃 橋本図書館
毎月第2週火曜日 11:35頃 相模大野図書館
毎月第3週火曜日 11:35頃 相模原市立図書館
毎月第4週火曜日 11:35頃 図書館豆知識
再放送は、翌水曜日18:05頃
翌木曜日16:15頃
翌金曜日 9:05頃より放送します

「図書館へ行こう」の放送はFM HOT 839 無料公式アプリでもお聴きいただけます!!

ラジオは停電でも防災情報が聴ける防災メディアチャンネルはいつでも 83.9MHz

83.9MHz

<https://fm839.com/>
FMHOT839MHz

相模原市立図書館の公式 YouTube チャンネルではアーカイブも公開しています

アプリのダウンロードはこちらから

<https://fmplapla.com/fmsagami>

